

## 京田辺 ゴールデンウィーク 2001

田辺公園のローラー滑り台で遊ぶ子どもたち



## 多彩なイベント

それぞれのスタイルで満喫  
4月28日から5月6日までの大型連休の期間中、市内では多彩なイベントが数多く開かれました。  
今年の連休は、前半が時おり雨がふるあいにくの天気だったものの、後半は持ち直し、行楽日和に。  
市民みなさんの結婚や入学・転入などを記念し開かれた植樹祭をはじめ、児童福祉週間の一環として行われた野外活動に親しむ日・田辺公園プールの無料開放にも多くのみなさんが集い、春風を感じながら、それぞれのスタイルで休日を楽しみました。

【4面へつづく】

## 将来へ受け継ごう

# 豊かな環境のめぐみ

## 6月5日は環境の日

6月5日は環境の日です。  
これは、昭和47年6月5日にストックホルムで開かれた「国連人間環境会議」を記念して定められたもの。国連では、日本の提案を受けてこの日を「世界環境デー」と定めており、日本でも「環境基本法」で『環境の日』と定めています。  
また、わが国では6月の1か月間を『環境月間』とし、全国でさまざまな行事が計画され、環境保全のための活動が重点的に行われます。  
環境にやさしい社会を築くためには、私たち一人ひとりが日々の暮らし方を見直し、少しずつでも環境にやさしいものに変えていく必要があります。豊かな環境の恩恵を将来に渡って受け継いでいくため、環境保全について何ができるか考えましょう。  
これを機会にみなさんも環境について考えてみませんか。



清潔で快適な暮らしが送れるように(昨年の山手東自治会で行われた市民一斉清掃)

市は、環境美化に対する市民のみなさんの意識を高め、うるおいのある快適な生活を送れるまちづくりを進めるため、市民と行政が一体となった「クリーンアップ京田辺」市民一斉清掃を行います。  
日時：6月3日(日)  
場所：各区・自治会  
くわしくは、生活環境課(☎64-1366)へお問い合わせください。  
市民が清潔で快適な生活を送れる住みよいまちづくりのため、市は平成11年に「まちを美しくする条例」を制定しました。また、国が定めた「環境基本計画」は、国民の役割として、環

## クリーンアップ京田辺

6月3日 各区・自治会で一斉清掃

環境美化活動への参加などにより、地域の環境美化に努めることが期待されており、市民一人ひとりの環境保全の推進の観点から一層の輪を広げていきたいものです。

まちを美しくする会  
「京たなべを美しくする会」  
まちを美しく  
標語・ポスターの入選作決まる



最優秀賞に選ばれたポスター

わがまち「京たなべ」を50点でした。「ポスターの美しくする会」が「まちを美しくする会」の応募は1点のみでした。ポスターの入選作が、優れた作品であったため、最優秀賞に決まりました。  
応募数は「標語の部」が、入選作品は、環境美化の地域美化に尽力あつた人も表彰

### ごみ減量化推進委員を募集

関心のある人 ご応募ください  
市は、循環型社会の構築を図るため「市ごみ減量化推進委員会」を設置します。  
同委員会は、学識経験者や市議会の代表・各種団体の代表者で構成しますが、市民の方々の意見を広くお聴きし反映させるため、委員を募集します。  
ごみ問題に関心のある人は、ぜひご応募ください。  
応募資格 = 市内に在住する20歳以上の人  
募集人数 = 若干名  
しめきり = 5月31日(木)  
申込・問合せ先 = 清掃衛生事業室(環境衛生センター甘南備園内、☎62・4328)

### 市の人口

平成13年5月1日現在 ( )は前月との比較	
男 28,128人(+141)	合計 57,007人(+259)
女 28,879人(+118)	
世帯数 20,422世帯(+229)	

また、地域の環境美化活動に尽力された人への表彰者も次のおり決まりました。(敬称略)  
【標語の部】  
最優秀賞「この子に残そうきれいな京田辺」姫嶋百合子(大住ケ丘)  
優秀賞「今飲んだあきかん持つ手」ゴミ箱住作「持ち帰ろう」  
ゴミや缶、外も道路も我が家と同じ「須和人(大住小林)・「新世紀、なお美しく」京たなべ「渡辺達明(田辺狐川)・「そのキミ、美しい未来、守ろうよ」橋本晶子(田辺勇田)・「ポイ捨てをやめて今度は、リサイクル」多田夏希(興戸宮ノ前)・「ほくたちで、きれいにしよう」京田辺「平林拓朗(興戸町田)」  
【ポスターの部】  
最優秀賞「あなたなら、どっちに住みますか?」河村英二(新島)  
【環境美化活動実践者】  
藤井誠三・岡嶋英昭・北川讓・西川恒彦・徳田正子

# 情報スクエア

Kyotanabe Information Square

**ソフトテニス・ジュニア教室を開きます。** しめきりが迫っていますので、お早めにお申し込みください。  
 日時=6月10日・17日・24日のいずれも日曜日の午前9時30分～正午  
 場所=田辺木津川運動公園テニスコート  
 対象=市内に在住する小・中学生の人  
 参加費=1人100円(第1回目の受付で徴収します)  
 申込方法=社会体育協会事務局(田辺中央体育館内)へ申込書を持参していただくか、郵送・ファクスで申し込んでください。  
 しめきり=5月25日(金)午後5時  
 申込・問合せ先=社会体育協会事務局(〒610-0331京田辺市田辺丸山19、田辺中央体育館内、☎62・1501、FAX62・1534)

**ゆずります**  
 ①ベビトラック(ゆれるもの)②オーブンレンジ(15年以前のもの)  
 ①冷蔵庫②大正琴③ベビーカー④A・B型いすれ④⑤ベッド⑥木製本棚(幅約90cm×高さ約120cm)  
 申込・問合せ先=産業振興課(☎64・1360)

# 綴喜陸上競技大会を開きます

## 競技種目一覧

種目	部門
1500m走女子・男子	①中学生 ②16～34歳 ③35歳以上
100m走女子・男子	①小学5・6年生 ②中学生 ③16～34歳 ④35歳以上
50m走女子・男子	①小学1～4年生 ②16～34歳 ③35歳以上
400m走女子・男子	①中学生 ②16～34歳 ③35歳以上
3000m走女子・男子	①中学生 ②16～34歳 ③35歳以上
中学生リレー女子・男子	中学生 4人 4×100m
小学生リレー女子・男子	小学5・6年生 4人 4×100m
400mリレー女子	一般(16歳以上)4人(知事杯争奪)4×100m
400mリレー男子	一般(16歳以上)4人(知事杯争奪)4×100m

種目	部門
砲丸投げ男子・女子	①中学生 ②16～34歳 ③35歳以上
走り幅跳び男子・女子	①小学4～6年生 ②中学生 ③16～34歳 ④35歳以上
走り高跳び男子・女子	①小学5・6年生 ②中学生 ③16～34歳 ④35歳以上

## 親睦と交流を深めるため

市と并手・宇治原両町は、住民学する小学1年生以上の人および相互の親睦と交流を深め、広域的なスポーツ振興をめざした、第2回綴喜陸上競技大会を開きます。みんさんの参加をお待ちしています。  
 開会式=午前10時から(午前9時30分から選手・参加費の受付をします)  
 場所=山城総合運動公園陸上競技場(通称「太陽が丘」宇治原)  
 内容=左表のとおり  
 参加資格=市内に在住・通勤・通学する小学1年生以上の人および相互の親睦と交流を深めるため、広域的なスポーツ振興をめざした、第2回綴喜陸上競技大会を開きます。みんさんの参加をお待ちしています。  
 申込方法=田辺中央体育館へ電話・ファクス、または直接申し込んでください。(小・中学生は、各学段から配られる申込用紙で申し込んでください)  
 しめきり=6月15日(金)午後5時  
 申込・問合せ先=社会体育協会事務局(田辺中央体育館内、☎62・1501、FAX62・1534)

# 第16回 市民総体に参加しませんか

田辺公園テニスコートなどで

### サッカー

日時=7月15日(日)午後7時30分  
 場所=培良中学校グラウンド  
 対象=市内に在住・通勤・通学する18歳以上の人で編成できるチーム  
 参加費=1チーム1000円(当日徴収します)  
 しめきり=6月1日(金)午後5時  
 申込方法=田辺中央体育館に備え付けの申込用紙に必要事項を書いて、社会体育協会事務局(田辺中央体育館内)へ直接または郵送・ファクスで申し込んでください。  
 申込・問合せ先=社会体育協会事務局(〒610-0331京田辺市田辺丸山19、田辺中央体育館内、☎62・1501、FAX62・1534)

### ソフトテニス

日時=6月3日(日)午前8時30分  
 場所=田辺公園テニスコート  
 対象=市内に在住・通勤・通学する中学生以上の人  
 参加費=中学生:1人100円 中学生以外の人:1人300円(当日徴収します)  
 申込方法=田辺中央体育館に備え付けの申込用紙に必要事項を書いて、社会体育協会事務局(田辺中央体育館内)へ直接または郵送・ファクスで申し込んでください。  
 しめきり=5月28日(月)午後5時  
 申込・問合せ先=社会体育協会事務局(〒610-0331京田辺市田辺丸山19、田辺中央体育館内、☎62・1501、FAX62・1534)

### 卓球

日時=6月17日(日)午前9時から  
 場所=田辺中央体育館  
 対象=市内に在住・通勤・通学する中学生以上の人、または社会体育協会卓球連盟に在籍する中学生以上の人  
 競技内容=シングルの部、ダブルスの部  
 参加費=中学生:1人300円 中学生以外の人:1人500円(当日徴収します)  
 申込方法=田辺中央体育館に備え付けの申込用紙に必要事項を書いて、社会体育協会事務局(田辺中央体育館内)へ直接または郵送・ファクスで申し込んでください。  
 しめきり=6月8日(日)午後5時  
 申込・問合せ先=社会体育協会事務局(〒610-0331京田辺市田辺丸山19、田辺中央体育館内、☎62・1501、FAX62・1534)

**働く感動をエッセイに**  
 しめきり6月30日  
 厚生労働省・産業界連携推進課(〒27-3)へ作品とともに送付してください。  
 6回「働く感動をエッセイ」の作品募集です。  
 あなたが見つけた「働く感動」や「伝えたいこと」を、感動の想いを「エッセイ」に書き、写真(45×130)と一緒に郵送してください。  
 多くの応募をお待ちしています。  
 募集内容  
 応募方法=政策推進課に直接申し込める機会もついていたので、ぜひご応募ください。  
 問合せ先=政策推進課(☎64・1310)

部門	応募方法
ビデオ部門	VHS・S-VHS、DVテープまたは8ミリビデオ。長さは10分以内。作品テープの背にタイトルをラベルで貼付。応募は2巻まで。感想を応募票に記入。
写真部門	2Lまたはキャビネサイズ。モノクロ・カラーいずれも可。なお、4枚以内の組み写真は可(裏面に番号記入)。台紙貼付不可。応募は2枚まで。作品の説明および感想を応募票に記入。
エッセイ部門	手書きの場合は、400字詰めA4判原稿用紙3枚以内。ワープロ原稿の場合は、A4判用紙に1200字以内。必要事項を応募票に記入。
絵画部門	画用紙にクレヨン・水彩・ガッシュ・アクリルで描かれた絵画。100～200字程度で作品の説明を応募票または別紙に記入。

# 手話教室の受講者募集

通訳者を養成、より充実した教室に

市は、昨年まで行っていた「得を目標に、聴覚障害者代850円のみ必要」の手話教室をより充実させ、福祉についての理解と知識を深め、手話通訳者を自給する目的で、1年間(6月15日)でお知らせし、手話教室を開講します。

手話教室の日程・講座内容(前半:入門)

月日	内容
6月15日(日)	開講式 聴覚障害者の基礎知識 第1講座 つたえあってみよう①
6月22日(日)	第2講座 つたえあってみよう②
6月29日(日)	聴覚障害者の生活「子育てについて」 第3・4講座 自己紹介をしましょう①②
7月6日(日)	聴覚障害者の生活「医療について」 第5・6講座 自己紹介をしましょう③④
7月13日(日)	聴覚障害者の生活「社会生活について」 第7・8講座 自己紹介をしましょう⑤⑥
7月20日(日)	第9講座 自己紹介をしましょう⑦
7月27日(日)	第10講座 話しかけてみましょう①
8月3日(日)	第11・12講座 話しかけてみましょう②③
8月10日(日)	第13・14講座 話しかけてみましょう④⑤
8月17日(日)	第15・16講座 話しかけてみましょう⑥⑦
8月24日(日)	第17・18講座 話しかけてみましょう⑧⑨
8月31日(日)	手話サークルの活動 第19・20講座 あらわしてみよう①② 閉講式

受講料=無料(テキストあり)  
 申し込み=5月31日(木)まで  
 申込・問合せ先=京都府聴覚言語障害センター(〒600-8437京都市中京区西ノ京東中町2番地 ☎075-841-833)

**プール監視・受付(夏期)アルバイト募集**  
 教育委員会は、田辺公園プールの監視員と夏季期間(7月1日(日)～8月31日(金))の受付事務のアルバイト登録者を募集します。  
**【職種と応募資格】**  
 プール監視員=昭和21年4月2日以降に生まれた学校教育法(昭和22年法律第26号)による高等学校以上を卒業し、水泳ができる人。  
 プール受付事務=昭和21年4月2日以降に生まれた学校教育法(昭和22年法律第26号)による高等学校以上を卒業し、土・日曜日とも勤務できる人。いずれの職種も地方公務員法第16条の各号のいずれかに該当する人は応募できません。  
**【申込方法】**  
 教育総務課に備え付けの申込書に必要事項を書いて、撮影後6か月以内の写真(上半身脱帽、縦6センチ×横5センチ)を貼り、同課へ本人が持参してください。  
**【申込書交付・受付日時】**  
 5月21日(月)～6月4日(月)午前8時30分～正午、午後1時～5時。ただし、土・日曜日は除きます。  
**【申込・問合せ先】**  
 教育総務課(☎64・1391) 受付事務は土・日に勤務できる人

**委員会でも相談にのじます**  
 人権擁護委員制度をご存じですか?  
 6月1日は「人権擁護委員の日」と定め、この日を中心として、市民の権利を擁護し、人権を尊重することを使命とする人権擁護委員が、市から推薦され、市長が委嘱した市の人権擁護委員は、次のとおりです。(敬称略)  
 上村清彦(東西神屋 40・1、☎62・3537)  
 岡山修(新天神堂、☎63・2244) 小島豊子(大住閣屋31・8、☎62・0336) 神谷三智子(花住坂2丁目16・1、☎63・5771) 川端恵美子(三山木谷境内28、☎62・0398) 鈴木正恵(☎64・1320) 水取東光明(☎65・0163)  
 市文化協会は、第15回京時から、田辺市民舞踊発表会を開きます。  
 日時=6月3日(日)午前10時～午後5時  
 場所=市民舞踊発表会会場(古典舞踊 歌舞)

**急な事故・病気に即応**  
 市消防本部は、家庭や職場で起こる急な事故や病気の対処ができるように、普通救命講習会を行います。  
 日時=6月10日(日)午前9時～正午  
 場所=井手町立山吹ふれあいセンター  
 定員=先着30人  
 講習料=無料  
 しめきり=6月9日(土)  
 申込・問合せ先=消防署(☎63・1125) 同署井手分署(☎82・3000)  
 田辺市民舞踊発表会  
 日時=6月3日(日)午前10時～午後5時  
 場所=市民舞踊発表会会場(古典舞踊 歌舞)

**募集**  
 おおむね60歳以上の健康で働く意欲のある方入会をお待ちしております  
 申し込み・お問い合わせは、電話でOK!  
 京田辺市シルバー人材センター  
 京田辺市田辺西14番地(旧商工会館) TEL65-4020

水道料金のお支払は便利な口座振替で!!  
 京田辺市内に本・支店を有する金融機関(郵便局含む)  
 お申し込み 京田辺市内に本・支店を有する金融機関(郵便局含む)  
 必要なもの 預金通帳・お届の印鑑・領収書または使用水量のお知らせ

リサイクルで資源を大切に  
 家庭でいらなくなったもの(譲りたいもの)、譲ってほしいものがあれば、市に登録してください。  
 もういらなくなったよ  
 ほしいな  
 問い合わせ先 京田辺市産業振興課 ☎64-1360

市内のどこにいても、ニュース、催しなどがあるときは、お知らせください。  
 京田辺市広報広聴課(☎64・1320)

# ゴールデンウィーク カメラルポ!

## 新緑のなか植樹祭や魚つかみ



草内木津川運動公園で開かれた木津川まつり。あいくの曇り空にもかかわらず、家族連れなど約5000人が訪れ、親子で楽しめるカヌーレースやバイク教室、恒例の魚つかみ大会などのイベントに、楽しいひとときを過ごしました。(4月29日)



野外活動に親しむ日は、これまで以上に内容が盛りだくさん。探検ウォークラリーや篠笛づくりに家族連れら300人が挑戦し、ランチタイムには南陽高校生によるマジック、小学生のエアロビクス(写真)も披露。竜王の森は終日、歓声に包まれていました。(5月5日)



第5回市民記念植樹祭が田辺公園で開かれ、約200人の市民が参加。57組の家族が、誕生や結婚・遷居などを記念して、サトザクラやケヤキなどを植樹しました。子どもさんの入園と入学を祝って、大住平谷から参加された田中智志さん(44)は「参加させていたいただいて、うれしい。よい記念になります」と親子でナンキンハゼを植えました。(4月29日)



田辺公園プールの無料開放が行われ、多くの人でにぎわいました。これは4月27日から5月13日まで開かれた児童福祉週間のイベント。子どもらは浮き輪やビーチボールで遊んだり、水をかけ合ったりして、「こどもの日」を満喫しました。(5月5日)



7月に開かれる「第9回全国手もみ茶品評会」に出品する手もみのせん茶作りが、普賢寺の京田辺玉露製茶技術研修工場で行われました。「京田辺茶手もみ技術保存会」(仲井滋会長)のメンバーら約10人が、現代の名工に認定されている山下壽一さんの指導のもと、汗をにじませながら「横まくり」など伝統の技で生葉をもみました。(4月28日)

## 歯の健康シリーズ7

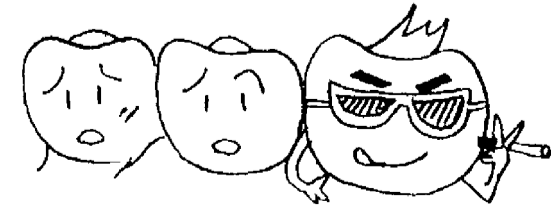
今月号は「親知らず(智歯)」の話です。「親知らず」と聞けば、誰もが「痛い」「抜くと腫れる」などと怖いイメージをもつと思います。しかし決して恐いことばかりではないのです。親知らずは智歯と呼ばれる、知恵のついた頃にはえてくると言われています。

### 親知らずも大切に

個人差もありますが、だいたい18〜24歳頃に永久歯の中で一番最後にはえてきます。正常には軟らかい食物を摂取することが多いので、現代人の大きなバランスが悪く、横向きにはえたり、骨の中に埋まっていたりする場合が多いのです。

歯科医院に行けば、この親知らずの治療としては「抜いておきましょう」と言われる場合が多いのですが、なぜなのでしょう。それは正常にはえていない場合を除いて、横向きにはえていく場合などでは前の歯を押しつぶす原因となるからです。また、前の歯との間が虫歯になつていたり、親知らずの周りの歯茎が腫れたりして、きちんと治療し

すから、もし別の奥歯が何かの原因(虫歯や外傷など)で抜かなければならなくなつた時に、親知らずを利用して噛めるように歯を補うことが出来ます。そういう意味でも親知らずは重要な歯なのです。親知らずは不必要な歯であるという間違った認識は捨て、大事に手入れをすれば、利用価値も出てきます。また、親知らずを丁寧に手入れできていないと、歯を丁寧に手入れできていないと言ってしまう言ではないでしょう。みなさん、親知らずまでしっかり歯みがきをしてください。



## 第10回 市民ふれあいロビーコンサート

市は、お昼のひとときを市民のみなさんに気軽に音楽に親しんでいただくため、今回で記念すべき10回目となる「市民ふれあいロビーコンサート」を開きます。今回は、「ああ人生に涙あり(水戸黄門のテーマ)」や「横浜たそがれ」など、誰もが知っている親しみやすい曲が大正琴で演奏されます。どなたでもご自由にご覧になれますので、ぜひお越しください。



大正琴を演奏する高橋絃洲さん

日時 = 6月5日(火)午後0時25分~0時55分  
場所 = 市役所2階市民ホール  
演奏者 = 高橋 絃洲  
曲目 = ああ人生に涙あり  
ここに幸あり くちなしの花  
横浜たそがれ 人生路  
歓喜の頌歌 アルハンブラの思い出  
問合せ先 = 政策推進課(☎64-1310)